

編集後記

今回「子どもたちに伝えたい読書の体験談」を、社会を支えてくださった概ね六十歳以上の県民の皆様にご募ったところ、たくさんの方々からご応募いただきました。

体験談の一つ一つには、本との出会いがその後の人生に大きな影響をもたらした様子や、本を通じた人とのふれあいのすばらしさが、紙面いっばいに表現されていました。どの体験談にも、本との出会いには必ず人とのかわりがあること、読書を通して人との豊かなふれあいがあることがえがかれています。それぞれの家庭や地域で、温かなふれあいがあることを嬉しく思いました。

少しでも多くのメッセージを子どもたちに伝えたい、そう思いながら編集作業に取り組みました。子どもたちが、メッセージを直接受け取れるように、それぞれの章の前半に子ども向けの作品を掲載してあります。作品を選んで子どもに読ませると

きなどにお役立てください。

また、この冊子をこのまま子どもたちに読み聞かせたり、ご自分の体験や思いを添えて話して聞かせたりするなどして、ご活用いただければ幸いです。

おじいちゃん、おばあちゃんからのすばらしいメッセージが、次の世代の子どもたちに伝わり、子どもたちが豊かな人生を歩んでいくことを願ってやみません。

この冊子が、様々な活用され、「本を通じた心のふれあい」が一層広がることを祈念しています。

本との出会い

人とのふれあい

― 子どもたちに伝えたい読書の体験談 ―

おじいちゃん、おばあちゃんからのメッセージ

平成十九年一月

発行 栃木県総合教育センター

編集 栃木県総合教育センター 研究調査部

〒三三二・〇〇〇二 宇都宮市瓦谷町一〇七〇

電話 〇二八（六六五）七二〇四

FAX 〇二八（六六五）七三〇三



いきいき栃木っ子3あい運動
- 学びあい 喜びあい はげましあおう -